

四万十市民病院の支援と発展を願う署名

年 月 日

四万十市長 田中 全 様

四万十市民病院を守る会
代表世話人 広瀬 正明

私たちは「いつでも・だれでも・必要な医療が受けられ、健康で安心してくらせる地域」を願っています。市内でも、それぞれの病院にそれぞれの役割があり、市民病院では、呼吸器内科、外科系の手術、人工透析治療、そして夜 10 時まで救急患者を受け入れるなど、多くの住民のいのちと健康が守られています。

一方、診療報酬の引き下げや全国的な医師不足もあり、多くの公立病院が自治体独自の経営支援で支えられています。私たちの市民病院もさまざまな努力で経営改善がみられてはいるものの今年度も赤字が予想されていますが、引き続いて経営改善には期待をしつつ、赤字部分への市独自の経営支援は必要なものと考えます。

そして、医師が増えていくまで市民病院を支えるのは、病院スタッフへの過剰な負担や医療の量的質的な縮小などによるものではなく、市の政策の一つとして四万十市全体で市民病院を支える姿勢です。それは、安定した地域の医療体制を守り、新たな医師を迎えることにもつながるものと確信し、以下のとおり支援と発展を願います。

1. 市全体で一丸となって市民病院を支え、医師が働きたいと思える地域となるよう、市・病院・議会・住民が話しあい協力しあう関係を期待します。
2. 市の財政上可能なかぎり、平成 23 年度に市民病院が必要とする経営支援金の繰り入れがされることを私たちも望みます。
3. 医療の質をさらに高め、地域の医療機関等と共同して住民の健康を守る地域づくりの拠点となり、災害時には住民のいのちを守る公立病院としての使命をもって発展されることを願います。

氏 名	住 所

この署名用紙は厳重に保管し、市長への提出以外の目的には使用しません。